

|      |  |          |             |        |
|------|--|----------|-------------|--------|
|      |  |          | 科目コード       | 248    |
| 科目名  | 小児看護特論 (Topics of child nursing)   |          | 開講学科        | 看護学科   |
| 選択区分 | 選択   | 単位数 (時間) | 1 単位 (15時間) | 履修時期   |
|      |  |          |             | 4 年次前期 |
| 担当教員 | 枝川 千鶴子   |          | 科目区分        | 専門科目   |
| 授業概要 | これまでに小児看護方法論・母性看護方法論で学んだ「低出生体重児と家族の看護」と「新生児期の看護」の発展学習として、低出生体重児の看護実践と家族支援について教授する。 |          |             |        |
| 授業目標 | 1 低出生体重児の特徴を理解し、日常の看護について理解できる。<br>2 文献や演習を通して、健康障害をもつ子どもの育ちと家族を支える看護について考察できる。    |          |             |        |

授業内容

| 回      | 項目  | 内容  |
|--------|---|---|
| 1      | 低出生体重児の特徴と看護  | 生理的適応変化、未熟性に伴う主要症状と看護                                   |
| 2      | 低出生体重児の日常生活支援   | 状態観察、環境調整、タッチケア、ポジショニングなど                               |
| 3      | 低出生体重児の家族ケア (1)   | 家族の気持ちに寄り添い、家族との協働におけるケア                                |
| 4      | 低出生体重児の家族ケア (2)   | 子どもの最善の利益と家族の意思決定を支える看護                                 |
| 5      | 演習  | 低出生体重児の日常のケア  |
| 6      |   |   |
| 7      | まとめ   | 低出生体重児の家庭生活移行と在宅生活を支える看護について、医療・福祉・教育など包括的に捉えレポートにまとめる。 |
| 8      |   |   |
| 成績評価方法 | 受講態度 20%<br>演習の取り組み 30%<br>レポート 50%   |   |
| 教科書    | 使用しない。<br>講義の進行に合わせて資料の提示及び文献を紹介する。   |   |
| 参考図書等  | 同上  |   |
| 備考     | ・授業はスケジュールの都合上、変更する可能性があります。<br>・関連科目：「小児看護対象論」「小児看護方法論」「母性看護方法論」「臨床病態学Ⅲ」「臨床病態学Ⅴ」 |   |